

BTMU

CHINA WEEKLY

EXPERT VIEW : [日系企業のための中国法令・政策の動き]

今回は 2010 年 6 月下旬から 7 月上旬にかけて公布または施行された法令をとりあげました。一部それ以前に公布され、公表が遅れたものを含んでいます。

[規則]

- 「中国人民銀行、財政部、商務部、税関総署、国家税務総局、中国銀行業監督管理委員会の越境貿易人民元決済試行拡大の関係問題に関する通知」(銀発[2010]186号、2010年6月17日発布)
- 「財政部、商務部、環境保護部の自動車買換え政策の延長実施に関する通知」(財建[2010]304号、2010年6月18日発布、同年6月1日実施)
- 「商務部、財政部、国家发展改革委員会、工業情報化部、環境保護部、国家工商行政管理総局、国家品質監督検閲検疫総局の『家電買換え実施弁法(修正稿)』の印刷・発布に関する通知」(商商貿発[2010]231号、2010年6月21日発布・実施)
- 「国家税務総局の『非居住者租税協定待遇享受管理弁法(試行)』の関係問題に関する補充通知」(国税函[2010]290号、2010年6月21日発布・実施)
- 「財政部、国家税務総局の一部商品の輸出税額還付取消に関する通知」(財税[2010]57号、2010年6月22日発布、同年7月15日実施)

昨年7月から試行されている人民元での貿易決済を拡大するもの。対象国は香港・澳門、ASEAN 各国から全ての国家・地域に拡大、国内対象地区は広東省4市と上海市に18省・自治区・直轄市が追加された。貨物輸入、サービス貿易及びその他の経常項目の決済は対象地区の全企業を対象とし、貨物輸出については16地区で試行企業を選定するとしている。

昨年6月1日から今年5月31日までの期限付きで実施されてきた自動車の買換えに対する補助金交付措置を今年12月31日まで延長するもの。補助金交付申請期限は来年1月31日。

昨年6月1日から今年5月31日まで9省市で実施されてきた家電の買換えに対する補助金交付措置を今年6月1日から全国に拡大して実施するのに伴って、従来の実施規則を改定したもの。

昨年10月1日から施行されている『非居住者租税協定待遇享受管理弁法(試行)』の補足通知。同弁法で規定される「各級税務機関」、「租税居住者証明」、「主管税務機関への提出が免除される資料」などの意味を示している。各級税務機関に対して同弁法の実施を促したものである。

増値税輸出還付の取消に関する通知。対象品目は、有機化学品(108品目)、無機化学品(17品目)、化学工業生産品(87品目)、鋼材(48品目)、非鉄金属製品(59品目)、ガラス(26品目)、プラスチック・同製品(12品目)、ゴム・同製品(22品目)など合計406品目。報道によれば、第11次5ヵ年計画期の省エネ・排出削減目標の実現が厳しくなっている中で、主に高エネルギー消費産業の輸出還付率を一挙に取り消すことで、産業構造調整を促進することを狙った模様。対象とされた有機化学品の大部分は従来の還付率が17%または13%で、鋼材の約半数は昨年6月1日付で還付率が0または5%から9%に引き上げられたもの。具体品目については、財政部のHPをご参照。

http://szs.mof.gov.cn/zhengwuxinxi/zhengcefabu/201006/t20100622_323730.html

(本シリーズは、原則として隔週で掲載しています。)

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社
国際事業本部 海外アドバイザー事業部
池上隆介

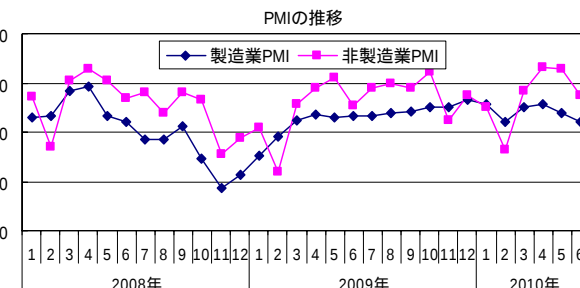
CHINA WEEKLY

WEEKLY DIGEST

【経済】

2009 年GDP成長率 9.1%に上方修正: 国家統計局は 2 日、2009 年のGDPを前回発表の 33 兆 5,353 億元から 34 兆 507 億元に、GDP成長率を前回の 8.7%から 9.1%に上方修正したことを発表した。産業別伸び率の改定値では、第一次産業が +4.2%と従来と不変、第二次産業、第三次産業がともに 0.4 ポイント上方修正され、それぞれ+9.9%、+9.3%となった。

6 月のPMI指数 2 ヶ月連続で下落: 中国物流購買連合会の発表によると、6 月の製造業購買担当者指数 (PMI) は前月比 1.8 ポイント低下して 52.1 と、2 ヶ月連続の下落となった。政府は、景気の拡大・縮小の分岐点の 50 を上回っていることから、製造業全体では依然として拡大傾向にあるものの、国内の一連の景気過熱抑制策や欧州財政危機による世界景気の回復鈍化等により、成長のペースは緩やかになっているという。PMIの構成別で見ると、完成品在庫指数は前月比 1.5 ポイント上昇の 51.3 となり、2008 年 12 月以来初めて 50 を超え、今後、需要不足の圧力が強まるとの懸念を示した。なお、非製造業のPMI指数は、前月比 5.3 ポイント低下の 57.4 となった。



(資料)中国物流購買連合会

「中国流動人口発展報告 2010」: 中国人口・計画生育委員会は 26 日、「中国流動人口発展報告 2010」を発表した。2009 年の流動人口数が 2 億 1,100 千万人に達したことを明らかにすると共に、今後 20~30 年の人口流動について「流動人口の規模は増加するものの、増加率が低下すること、経済危機を契機にもたらされた地域産業構造の調整により、人口分布に変化が起きること、東部沿海都市ベルト、内陸部都市群、西部中心都市に人口が集中すること、生活維持より将来性を追求して人口が移動すること、の 4 つの傾向が現れるとの予測を示した。

【産業】

低燃費小型車の補助金対象車リスト第 1 弾を発表: 国家発展改革委員会、工業情報化部、財政部は、先に施行された、「省エネ製品惠民プロジェクト」省エネ自動車 (1,600cc 以下の乗用車) の普及についての実施細則に基づき、対象車リストの第 1 弾()を発表した。対象車の購入時に、購入者はメーカーより 3,000 元の補助金が還付される。今回は日系のホンダ 2 車種、スズキ 1 車種を含む全 16 社 30 車種 71 型式が対象となっている。なお、今後も申請状況に応じて再度対象資格審査を行い、第 2 弾の対象車リストを発表していく予定という。

第 1 弾対象車リストは右記ホームページをご参照ください。 [「節能産品惠民工程」節能汽車推广目錄 \(第一批\)](#)

2010 年のアウトソーシング市場規模 4 割以上拡大: 商務部は 29 日、「中国アウトソーシング発展報告 2009」を発表した。同報告によると、2009 年のアウトソーシング産業は、金融危機の影響で世界的には 5 年振りの低成長となったが、中国のアウトソーシング市場は、国内市場開拓や企業の技術力向上の為に政府の積極的な支援により 20%以上の成長を遂げた。また、2010 年についても、4 割以上の勢いで拡大し、契約金額は 140 億米ドルを超えるとの予測を示した。アウトソーシング産業は中国の経済発展方式の転換と産業構造の調整を推進する重要な手段であり、大卒者の就職にとっても重要な産業となっている。政策面では、大卒者採用に対する 1 人当たり 4,500 元の補助、国際認証取得に対する 1 件当たり最高 50 万円の資金援助等の財政優遇があり、今年 4 月には、こうした優遇措置の対象範囲を拡大する政策も発表されており、政府はアウトソーシング産業の発展に力を入れている。

【金融・為替】

2010 年 3 月末の外債残高 4,432.36 億米ドル: 国家外債管理局が 2 日に発表したデータによると、2010 年 3 月末の中国の外債残高は 4,432.36 億米ドルで、昨年末比+3.4%の伸びとなった。うち中長期外債が 1,670.34 億米ドルで全体の 37.69% (昨年末比 ▲1.83 ポイント)、短期外債が 2,762.02 億米ドルで 62.31% (同+1.83 ポイント)となった。登記外債残高の通貨別構成は、米ドルが昨年末比+2.24 ポイントの 70.0%、日本円が同 ▲0.85 ポイントの 11.0%、ユーロが同 ▲0.89 ポイントの 5.5%、その他通貨が同 ▲0.5%の 13.5%となっている。

人民元の動き

日付	USD				JPY (100JPY)		HKD Close	前日比	EUR Close	前日比	金利 (1wk)	上海A株 指数	前日比
	Open	Range	Close	前日比	Close	前日比							
2010.6.28	6.7910	6.7904~6.7968	6.7967	0.0067	7.6074	0.0357	0.8729	-0.0005	8.4112	0.0772	2.8200	2657.70	-18.16
2010.6.29	6.7950	6.7942~6.7999	6.7977	0.0010	7.6714	0.0640	0.8732	0.0003	8.2862	-0.1250	2.8600	2544.36	-113.34
2010.6.30	6.7964	6.7801~6.7981	6.7814	-0.0163	7.6541	-0.0173	0.8711	-0.0021	8.3129	0.0267	2.6100	2514.16	-30.20
2010.7.1	6.7855	6.7808~6.7860	6.7810	-0.0004	7.6703	0.0162	0.8704	-0.0008	8.3330	0.0201	2.6500	2488.30	-25.86
2010.7.2	6.7745	6.7696~6.7778	6.7711	-0.0099	7.7018	0.0315	0.8686	-0.0018	8.4660	0.1330	2.6100	2497.79	9.49

RMB レビュー&アウトルック

先週の人民元相場は前週末終値とほぼ同水準の 6.7910 で寄付いた。週初こそ 6.79 台後半で軟調な推移となったが、週末にかけて人民元が緩やかながら上昇し、2 日には、事実上の切り上げを実施した。2005 年 7 月以来の高値を更新する 6.7696 まで上昇し、結局 6.7711 で越えた。一方、上海総合株価指数は、金融引き締め観測や、大手金融機関による IPO (新規株式公開) を控えた需給の悪化などから、1 年 3 ヶ月ぶりの水準に下落している。また、6 月購買担当者指数 (PMI) も 2 ヶ月連続で低下 (53.9→52.1) するなど、国内経済の先行きに対して、慎重な見方も台頭している。こうした中、今週の人民元相場は、緩やかな上昇にとどまり、6.7 台後半を中心としたレンジ相場で神経質な推移となるだろう。(7 月 5 日作成)

(市場営業部 為替営業推進グループ グローバル営業ライン)

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいませう。宜しく(お願い)申し上げます。当資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されています。